

9. Call A B

目標：タスクを通じて call A B を使えるようにする。

対象：中学 2 年生

時間：20 分

資料：ハンドアウト Step 1 の絵

このタスクの進め方

○Pre-task

1. 教師が call A B を使った例文を二回読み上げ生徒に絵と単語を線で繋がさせる。

T: I call my father papa.
I call it Tokyo Skytree.
Mai calls me Takkey.

2. ペアで確認した後に、答えを映し出す。
3. Step 2 に移り、聞こえたほうに丸を打たせる。読み上げは二回。
4. ペアで確認した後、生徒を指名し発表させる。そのあと、全員でリピート。
5. Step 3 に移り、生徒に気づいたことを穴埋めさせる。

○Task

6. 生徒が一人で何人が A を B と呼んでいるか予想して書かせる。
7. Question と Model Dialog を全員でリピートする。
8. モデルダイアログに従って、全質問を 3 人にさせる。

9. 聞いた人の答えを踏まえて、最終予想を立てさせる。

10. 全員で答え合わせをさせる。

モデルダイアログ

A : Do you call your father papa?

B : Yes, I call him papa. / No, I call him oyaji.

(Ryo)